

(1)事業の概要等

事業番号	B2103-2
実施計画事業	
実施計画事業以外の事業	○

令和5年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	小牧市民まつり開催委託事業					担当部			地域活性化営業部		
	事業期間	昭和63年度以前	～	令和7年度以降			担当課			シティプロモーション課		
	小牧市まちづくり推進計画(R1年～R4年)	分野別計画編	基本施策	21	展開方向	3	担当係			にぎわい創出係		
	予算区分	一般会計	款	7	項	1	目	4	大	3	中	1
	根拠法令・個別計画	—					事業種別			一般事業		
	目的・成果 (何のために、どのような成果を期待するか)	市民相互の融和を深め、文化をはぐくみ、市民でつくるまちづくりを推進するため、「ふれあいの輪をひろげよう」のテーマのもとに市民総参加のまつりを実施する。										
	対象 (何・誰を対象に)	市民 子どもから高齢者まで 市民団体 NPO										
	内容・手段 (目的達成のためにどのような事業を実施したか)	<p>●令和4年度の実施内容 小牧市民まつり 2年連続WEB版開催を経て、3年ぶりのリアル開催。 市民団体や(特非)こまき市民活動ネットワークの体験ブースエリア、小牧商工会議所による物産展エリア、市内団体による市民芸能や伝統芸能、バレエ、ダンス、演奏、合唱など各ステージ、市民団体によるフリーマーケット、小学校参加のマーチングバンドによるパレード、公募により市民が参加しての信長行列、家康行列、ボランティアなど様々なカタチで市民が参加し市民まつりを開催した。</p> <p>●直接経費(令和4年度) 12 委託料 市民まつり開催委託料 37,247千円</p>										
受益者負担	無											

(2)事業費

		項目	単位等	R1	R2	R3	R4	R5	
直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	38,500	—	1,540	37,247	
			国・県支出金	千円					
			その他	千円					
			計(A)	千円	38,500	0	1,540	37,247	
		対前年比	%	—	0.0%	—	2418.6%		
	予算額	千円	38,500	38,000	1,540	41,500	41,500		
人件費		正規職員	人	1.75	0.75	0.75	1.35		
		正規職員(平均賃金)	千円	13,101	5,615	5,615	10,106		
		その他職員	人	0.40			0.25		
		その他職員(時給×時間)	千円	450			360		
		計(B)	千円	13,551	5,615	5,615	10,466		
事業費合計(C=A+B)		千円	52,051	5,615	7,155	47,713			

(3)業績

展開方向における指標の推移		基本施策		21		展開方向		3	
指標名		単位	方向性	基準値	R2	R3	R4	R5	
1	市の主なイベントやまつりに来場または参加した市民の割合	%	↗	33.9%	—	—	—		
2									
3									

指標ほか		単位		R1	R2	R3	R4	R5		
指標	成果指標	市民まつりのアンケートで、来年以降も市民まつりに来たいと思いますか？の問いに「ぜったい来たい」と答えた市民の割合	%	目標	—	—	—	—	35.0	
				実績	42.1	—	—	33.7		
	活動指標	参加団体数 (ブース・ステージ合計)	件	目標	—	—	—	—	260	
				実績	265	—	—	237		
単 位 事 業 あ た り	受益者数(a)		人	—	—	—	—			
	受益者あたり事業費 (=C/a)		円	—	—	—	—			

(4)事業の評価

事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの	
	事業の達成状況と課題	<p>小牧市民まつりは今年で44回を迎え、来場者数だけでなく、市内で最も多くの市民が「参加」し、市民の誇りと愛着を醸成するためには欠かすことのできないイベントとなっている。</p> <p>令和元年に比べ、令和4年のアンケートでは、「来年もぜったいに来たい」の割合は8.4%減少したが、「来たい」と「ぜったいに来たい」を合わせた割合は90%を超えており、小牧の秋の風物詩として定着している。</p> <p>しかし、コロナ禍により、団体の高齢化も相まって、今後は参加する市民団体や来場者の減少も見込まれる。</p> <p>また働き方改革などもあり、企業ボランティアの土日の参加も減少している。</p> <p>昭和55年(1980年)の第1回開催以降、人口増加に伴いまつりの規模も拡大してきたが、今後の人口動向によっては、まつりの規模を考慮していく必要がある。</p>	
今後の実施内容	<p>すでに議論に入っているまつりの日程変更(近隣市町との重複を避け、他市からの来場者増加を図る)した結果、参加団体数や来場者数に変化があるのかを検証し、まつりの内容を検討していく。</p>		
事務事業評価による額	千円	節	細節
	細々節		